

外来1・2階

血液内科

消化器科

生物学的製剤点滴室

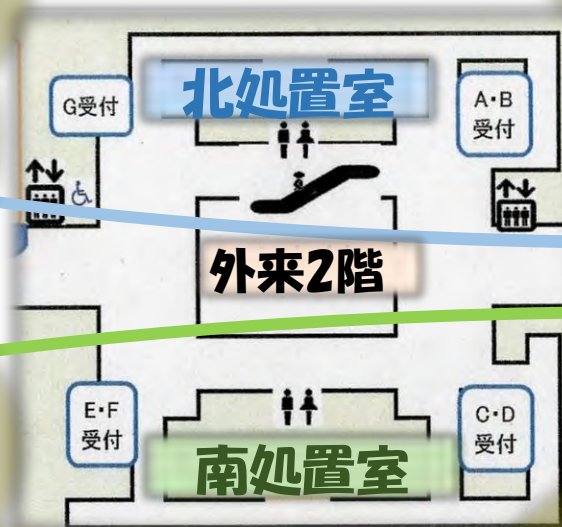
(下記診療科診察後点滴実施)
血液内科・消化器科・免疫膠原病科・
リウマチセンター・皮膚科・眼科・整形外科

腎臓科

免疫・
膠原病科

糖尿病内分泌栄養科

高齢者
医療ユニット



歯科・
口腔外科

呼吸器内科

がん診療部
(放射線治療科・脳腫瘍・前立腺)

脳神経外科

循環器内科

脳神経内科

外来1・2階 看護師の役割

北処置室

- ①各診療科受付予診(トリアージ)
- ②処置(輸血、点滴、安静採血、注射、血糖測定)
- ③診療・処置介助(骨髄穿刺、腰椎穿刺+髄腔内注射、腹腔穿刺、瀉血、創傷処置、CAPDチューブ交換)
- ④検査説明(内視鏡検査・エコー・CTなど)
- ⑤フットケア
- ⑥在宅療養指導
(自己注射、血糖測定、CAPD、その他生活指導)

南処置室

- ①各診療科受付予診(トリアージ)
- ②処置(注射、採血、点滴、吸入、血圧脈波検査、心電図)
- ③診療・処置介助(腰椎穿刺、胸腔穿刺、除細動、血液ガス採取、口腔外科処置、創傷処置、心臓カテーテル出棟)
- ④説明(エコー、CT、術前オリエンテーションなど)
- ⑥在宅療養指導
(自己注射、てんかん、在宅酸素、その他生活指導)

受付予診係（トリアージ）

ラウンド

問診票で
チェック

当日受診の方

当日受診の方
来院理由

外来問診票で
あいにチェック
のある方

外来問診票

2週間以内の症状

発熱 なし
咳・痰 あり
強いだるさ なし
...

具合が悪そうに
している患者さんは
いないかな？

熱っぽくて…

患者さんからお話を聞き、
適切にトリアージします。

今日はどうされ
ましたか？

緊急性のある場合や、
隔離が必要かどうか
医師に指示を仰ぎます。

様々な処置・検査

北処置室



輸血



点滴



採血・安静採血

南処置室



血圧脈波検査・心電図



サクソンテスト
(唾液量検査)



血糖測定



皮下・筋肉注射



ネブライザー吸入

様々な処置介助

北処置室



南処置室



自己注射指導

北処置室



成長ホルモン製剤など



インスリン製剤



南処置室



喘息治療薬

喘息の患者さんに皮下注射・管理の指導をしています!

指導 (南処置室)

てんかん指導



あつこっ〜



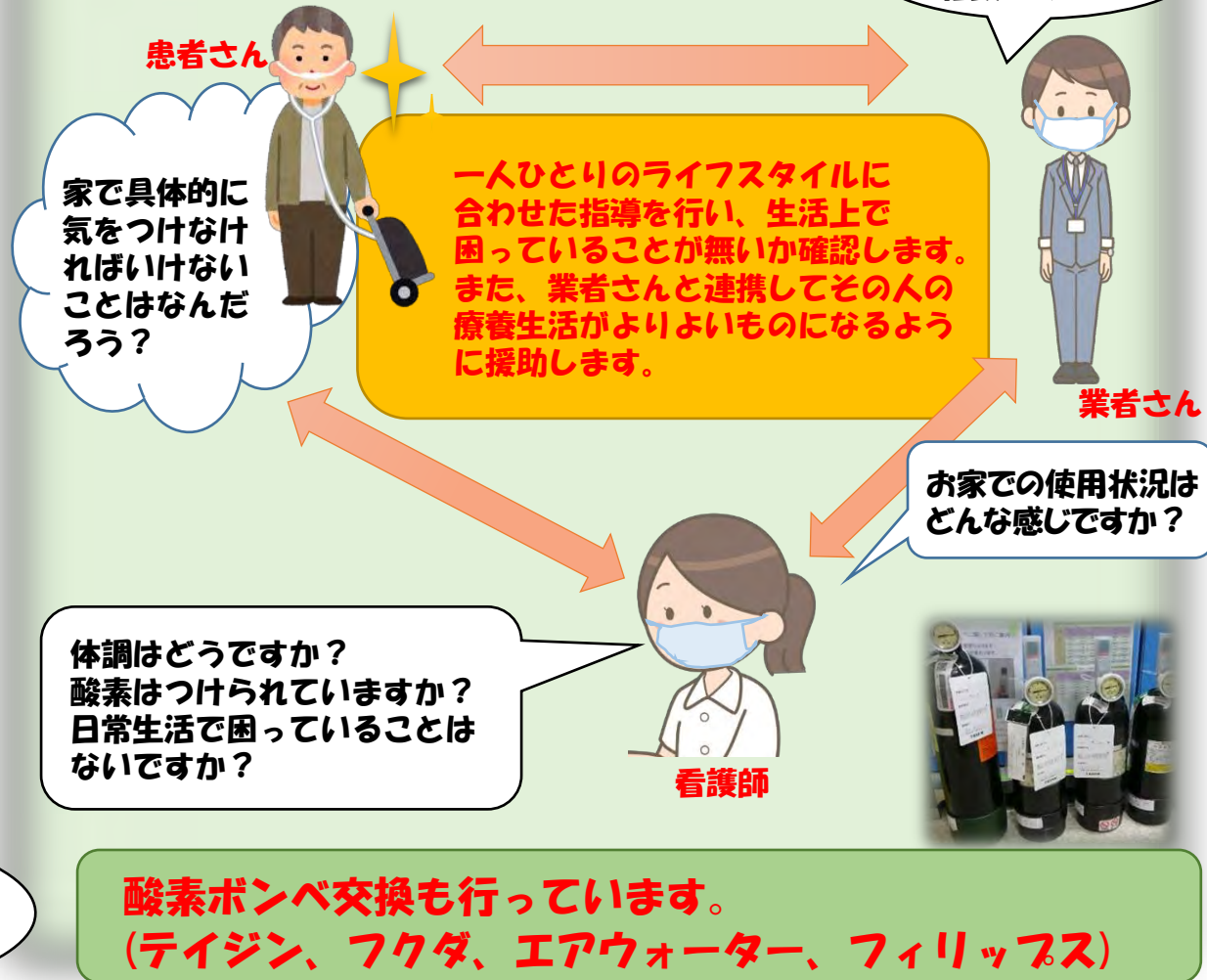
てんかんは
誰がなっても
おかしくない
ありふれた病気です。
患者さんの
生活背景から、
必要な指導内容を
個別に考えます。
また、患者さんや
ご家族の不安に
寄り添ったケアを
します。



てんかんのパンフレット類



HOT(在宅酸素療法)



糖尿病関連の看護外来・指導 (北処置室)

フットケア外来

※対象は糖尿病の患者さんです。



糖尿病の患者さんは、一度キズを作ってしまうと治りにくいです。

在宅でもフットケアができるように、方法をお伝えします。足病変の早期発見に努めます。



こんな事にならないように...

自分でも、足を見るようになりました。

糖尿病透析予防指導

糖尿病で腎機能が悪くなった患者さんがそれ以上悪化する事を予防する為に、医師・看護師・栄養士が共同して指導に当たります。

分かりました。家でやってみます！



医師



栄養士



看護師



腹膜透析患者への取り組み

(北処置室)



問診：
患者さんと在宅でのケアや生活のお話をし、異常の早期発見に努めています。

診察介助：
医師と共に腹膜透析カテーテル出口部の観察や、カテーテル交換の介助をしています。



病棟との連携

外来でも病棟でも患者さんが継続した看護を受けられるように、病棟看護師などと情報交換を行っています。

外来

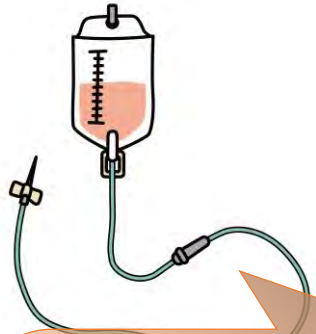
情報提供

病棟



生物学的製剤点滴室 (Bio室)

外来1階



点滴している
生物学的製剤には…

レミケード
アクテムラ
タイザブリ
オレンシア
ベンリスタ
があります。

来られる患者さんは…

関節リウマチ
潰瘍性大腸炎
クローン病
キャスルマン病
成人スチル病
尋常性乾癬
サルコイドーシス
多発性硬化症

…などの難病の方々です。

IBD教室の開催 (北処置室)

IBD(炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎などの難治性疾患)の患者さんを支援するチーム。半年に1度、患者さん・そのご家族を対象に、IBD教室を開催しています。

- ・消化器内科医師
 - ・看護師
 - ・薬剤師
 - ・管理栄養士
 - ・社会福祉士
 - ・IBD関連業者
- でチームを構成しています。



残念ながら今年度は
開催出来ていません。

若手職員紹介

●外来 一二代（がいらい ひふよ）さん

●入職14年目、血液内科病棟、肝胆膵・移植外科病棟勤務後、
産前産後+2年間の育児休業を経て2021年5月より
外来1・2階所属の北処置室で勤務

●主な仕事内容 外来2階北処置室または外来1階生物学的製剤点滴室で業務にあたっている
各診療科受付でのトリアージ・処置（輸血、点滴、注射など）・処置介助（骨髄穿刺、腰椎穿刺+
髄腔内注射、瀉血など）・検査説明（CT、上部下部内視鏡検査など）・自己注射指導などの業務

外来1階
生物学的製剤点滴室



外来2階
北処置室



外来さんのある1日

- 06:15 ● 起床、家事（朝食づくり、洗濯、身支度など）
- 07:00 ● 子供を起こし、朝食・支度
- 08:10 ● 子供を保育園に送り、出勤
業務開始（本日の処置スケジュールを確認し処置室にいられた患者さんの対応などを行う）
- 10:00 ● 退勤
- 15:30 ● 夕食作り、保育園にお迎え、夕食、入浴、子供の世話など
- 17:00 ● 子供の寝かしつけ
- 20:30 ● 残った家事
翌日の保育園の準備
- 21:00 ● 就寝
- 22:00 ● 就寝

仕事をするうえで大切にしていること

初めての外来業務であり、病棟との違いになれない部分はありますが、外来通院中の短い時間の中でも患者さんに安心・安全に治療を受けていただけるよう、日々笑顔で接し、患者さんの気持ちに寄り添うようにしています。

特に、血液内科の患者さんに対しては、病棟での経験を活かして、今困っていることや辛いことなどに耳を傾けて対応するようにしています。

また、自分一人では解決できないようなことに関しては、多くの経験豊富な先輩方に相談したりして、日々の業務を行うようにしています。

※夫は子供の起床前出勤、
子供の就寝後に帰宅のため、
平日はワンオペ育児になっている

メッセージ

私は2年間の育児休暇を経て仕事復帰しました。産休期間も含めると2年3か月ぶりの復帰となりブランクが長かったため、現場に戻れるかどうか最初は不安がありました。部署の先輩方の優しく丁寧な指導のおかげで、充実した日々を送ることができています。

また私は、他県在住のため通勤に時間がかかることを考慮していただき、育児短時間勤務という勤務体制で勤務させていただいています。現在の勤務体制のおかげで、子供との時間も作ることができています。

同じ子育てママも多く働いており、子育てのことに関する情報もたくさん得られ、安心した環境で仕事を続けていく事ができています。子育てと両立しながら働いていける環境も整っていますので、ぜひ新しい方にもどんどん来ていただければと思います。